

令和元年度 学校評価のまとめ

学校評価の公表について (手段・時期等)		ホームページ上にて公開（5月）
領域	学校関係者評価の結果	学校評価のまとめ
学校経営 教育課程	<ul style="list-style-type: none"> ・市銚グローバル4を核とした英語力向上を目指す教育目標に照らした教育実践を継続し、グローバルな視野をもつ生徒を育成して欲しい。 ・市立銚子の強みを正確にまた積極的に中学校に説明する努力も継続して欲しい。 ・小中学校の保護者にも、ホームページ等による積極的な情報提供を引き続きして欲しい。 ・子供たちのための業務が増えていく中で、子供たちのために業務を精選することも大切である。部活動指導時間の短縮や業務改善等により、職員の時間外勤務の縮減を更に進めて欲しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本校の教育目標や特色ある教育活動について、近隣中学校等に対して、積極的にPRすることにより、本校に対する正確な認識を持っていただく。 ・確かな学力と豊かな心・健やかな体を育み、生徒の総合的な人間力向上を目指す。 ・教職員がこれまでの業務内容を見直し、常に短時間かつ高い効率の業務改善の意識を持ちながら、チーム学校として教育活動に取りくむ。
学習指導	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の家庭学習（学習塾や予備校等での学習も含む）への取組については、より改善ができるように家庭学習の必要性を伝えていくとともに、放課後の学習場所の校内での確保・充実を継続して取り組んで欲しい。 ・定期考査については、生徒の学習の成果が的確に測定できる問題作成・新指導要領に対応する観点別評価による基準づくりを具体化して欲しい。 ・英語や漢字等の外部検定にも積極的に取り組むよう指導を継続して欲しい。 ・「主体的・対話的で深い学び」の研究・改善を学校全体で積極的に取組み、生徒の思考力や表現力を養う授業を展開して欲しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教員の指導力向上を図り、教員相互の授業参観を積極的に行うことで、さらなる授業改善を図る。 ・少人数習熟度別授業において、個及びグループ内で思考し表現する機会を更に増やし、次期学習指導要領に対応した新たな効果的指導法の研修に励む。 ・個々の職員が授業アンケートの結果を真摯に受け止め、指導力強化と授業改善に努める。 ・Classiによるアンケートの集計や学習計画の作成等効果的な活用により、家庭での自主的学習時間の確保を生徒が意識するようになったことで家庭での学習時間が増えた。
キャリア 教育	<ul style="list-style-type: none"> ・多くの生徒が進学を希望しているが、民間企業への就職や公務員についても個に応じたきめ細かな指導の結果が表れている。就職・公務員志望の生徒の取組が早期に目的意識を持って対策に取り組めるように指導を継続して欲しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・大学進学希望者のみならず、公務員や民間就職希望者に対して、早い段階から適切な職業観や勤労観が身につくよう専任の指導教諭を配置し適切に指導する。 ・機会をとらえて外部から多種多様な職業人を招いた講話の機会を増やす。
生徒指導	<ul style="list-style-type: none"> ・頭髮、服装指導等、保護者・地域からも評価されている。一方、生徒の通学マナーに課題もある。今後も、基本的な生活習慣の確立に力を注いで欲しい。 ・スマートフォンなどの使用について、継続的に効果的な指導をして欲しい。 ・不登校生徒の減少に向けて、現在実施している対策を継続して欲しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒会等と協力し、行事や朝の声かけ運動などの活動をおして、通学マナー向上と学校の活性化を図る。 ・スマートフォンやSNSの使適切な使用方法について外部講師による講演などを積極的に活用する。 ・入学前に、中学校と連携し情報交換を十分に行い、状況を把握し、1年次クラス編成に反映させるなど、丁寧な不登校対策を図る。
特別活動	<ul style="list-style-type: none"> ・学校行事の充実という観点から、生徒会活動や進路に係る行事等の生徒の参加意識を考慮しつつ、更なる充実に取り組んで欲しい。 ・短時間の指導で最大の効果を上げる部活動の運営に積極的に取り組んで欲しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒会との定期的な懇談の機会を通じ、学校行事の精選・生徒の福利厚生意見を吸い上げ、学校運営に生かす。 ・部活動について適切な休養日を設定し、部活動時間の適正化を図り、事故防止に配慮しながら活動を推進する。
教育環境	<ul style="list-style-type: none"> ・通学環境や学習環境等の整備の充実に、今後も継続して努力して欲しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教育活動との調整を図りながら計画的な整備を進め、教育環境の充実と美化活動を推進する。